

第71回国立大学法人山梨大学学長選考会議議事要録

日 時：令和3年1月22日（金） 15：00～15：25

場 所：本部棟5階第一会議室

出席者：丸茂、北島、進藤、清水、中村（和男）、中村（和彦）、熊田、佐藤の各委員

欠席者：奥村委員、中尾委員、奥田委員、古家委員

陪席者：齋藤監事、八巻監事、袖山理事、小林総務部長、田中監査課長、植松人事課長、伊藤人事課長補佐、細野人事課係長、新垣人事課係員

会議の成立及び配付資料の確認

議長から、過半数の出席により本会議が成立していることの報告及び配付資料の確認が行われた。

議事要録の確認

第70回国立大学法人山梨大学学長選考会議議事要録（案）（令和2年6月26日開催）を確認した。

議 題

1 学長の業務執行状況の検証について

袖山理事から、あらかじめ各委員に送付済みの資料1～資料5により、令和元年度における学長の業務執行状況及びこれに対する国立大学法人評価委員会による評価結果並びに監事による監査結果等について説明があり、引き続き、以下のとおり意見交換を行った。

- 国立大学法人評価委員会の評価結果で財務の項目に2つの事項が注目事項としてあげられていることから、順調よりワンランク上の評価を得ている。大学アライアンスやまなしの設立や市場調査チームの結成による経費削減が全体評価に取り上げられている。特に市場調査チームについては、全大学の評価結果の中に注目すべき点として取り上げられている。
- 新型コロナ対策に迅速に対応し、マスク等にもずいぶん取り上げられた。ある意味で一定の注目を浴び、山梨大学の存在を示した。

意見交換の後、議長から、意見をまとめると、国立大学法人評価委員会の評価において、すべての項目が順調以上の評価を得ており、多くの取組が注目事項として取り上げられていること、また、山梨県立大学との一般社団法人アライアンスやまなし設立による大学間連携の強化・推進、市場調査チームの結成による経費削減、イノベーション創出強化本部の設置に伴う知的財産権活用率の上昇など、大学運営に関し大きな成果を上げていること、これらのほか、新型コロナウイルス感染症には他に先駆け迅速な対応を指示するなど強いリーダーシップを発揮していることなど、総合的に見て良好と評価できる旨の提案があり、これを確認した。

また、この結果は、経営協議会及び教育研究評議会に報告することを確認した。

2 その他

八巻監事から、以下の提案があり、できるだけ早期に評価が実施できるように検討することとした。

- ガバナンスコードで求められる学長の評価の在り方を踏まえ、本学における評価のやり方を検討すべきである。
- 国立大学法人評価委員会に拠らずとも、本委員会として、もっと早い時期に評価を実施すべきである。

以上